

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立久御山高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	スポーツ総合専攻1・2・3年生
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 (支援学校との交流及び講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>支援学校の生徒と交流することで、スポーツを「支える」価値や意義、そして障害者への理解を深めるとともに、スポーツ交流を通じて人間的成長を図る。</p> <p>また、オリンピックの講演から、自己の取り組みを振り返って見つめ直し、更なる向上への意欲を高める。</p>
5 取組内容	<p>1 宇治支援学校との交流事業 (2年生)</p> <p>(1) 日時 令和2年10月22日 (木) 令和2年12月2日 (水)</p> <p>(2) 場所 京都府立久御山高等学校 京都府立宇治支援学校</p> <p>(3) 内容 「生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる資質や能力の育成・障害者スポーツへの理解」を目的として、宇治支援学校生徒の運動課題を解決できるような運動を考え、実践する。また、スポーツ交流を通じて障害者理解を深める。</p> <p>2 オリンピック選手による講演会</p> <p>(1) 日時 令和2年12月7日 (月)</p> <p>(2) 場所 京都府立久御山高等学校</p> <p>(3) 内容 山西利和選手 (競歩) による講演</p>

6主な成果

1 宇治支援学校との交流事業

(2年生)

昨年度に引き続き、宇治支援学校とのスポーツ交流を実施した。事前に支援学校から生徒の運動課題(見本通りに体を動かすことができない等のボディイメージの弱さや運動経験の乏しさ)を聞いて、グループごとに課題を絞って指導案を作成。その後模擬授業を繰り返し行い、修正をしながら課題解決に向けた運動内容を決定して交流を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で思うような日程で実施できなかったことが残念であったが、2回という少ない交流の中で、支援学校生徒からもボッチャを教えていただくなど充実した取り組みとなった。最初は支援学校の生徒への接し方に迷いがある様子であったが、交流を進めるにつれて自然に接することができ、お互いに有意義な時間となった。



《縄跳びトレーニング》



《ボールを使ったトレーニング》

2 講演会

今年度の講師は、2019年ドーハ世界陸上競技選手権20km競歩で日本人初となる金メダルを獲得された山西利和選手に講演をしていただいた。文武両立の実現に向けて努力されたこと、限られた時間の中でいかにして結果を出してきたか、これまで出会ったトップアスリートが持っている条件など、ご自身の経験をお話いただいた。

(生徒の感想より)

今日は、世界選手権で優勝された山西選手の貴重なお話を聴かせていただきすごく光栄でした。オリンピックまで残り1年をきっていて、合宿前という大切な時に講演をしていただいたのは当たり前ではないので感謝したいです。世界選手権に出場することもすごいけど、優勝するためにものすごい努力をしているんだと痛感しました。高校から世界一をとるような選手ではなかったのに努力を積み重ねて世界一に登りつめたのは本当にすごいし、自分の努力の小ささがわかりました。試合には準備が大切と言われていましたが、自分の思っている準備とは少し違って、気持ちの準備、体調の準備、リスクを想定して最悪の事態でも対応できるようにする、目標から逆算して考えるなどのことを言われていて、自分も見習い、できる限りの準備を大切にして、試合に望もうと思いました。

今日の講演を通して感じたことが2つあります。1つ目がメンタル強化の大切さです。山西選手も大きな大会や一番の勝負のときに戦うメンタルが必要だと言われていて、自分も緊張してしまうことが多いのでメンタルを強化していきたいと思いました。2つ目が目標を立てる大切さです。「結果は準備で決まる」という言葉がすごく心に残っていて、目標を立て、そこから逆算して今何をすべきか明確にする。これは自分もしているけど、実際に成功している山西選手から聞くと本当に大切なんだと改めて感じることができました。その上であらゆるリスクを想定し、どんな状況にも対応できるようにするなど、今の自分の行動と比べて考えながら聴くこともでき、本当に学ぶことが多くてとても勉強になりました。そして、競歩を指導してもらって、レースで勝負させてもらえるという貴重な経験をさせてもらって本当に良かったです。結果を残しておられる選手の言葉や、今日のような貴重な経験を自分の武器にしてこれから自分の競技につなげていきたいと思います。





《講演会の様子》

7実践において工夫した点 (事業の特色)	・宇治支援学校との交流では、支援学校生徒の体力や運動能力を考慮して実践する運動を考え、模擬授業を繰り返し行った。少し難しい動きも取り入れながら、チャレンジする姿勢が自然とでるような運動となるよう工夫した。全てを生徒達で自主的に考え、決定できるように進めた。
8主な課題等	・今年度については支援学校との交流が2回しか実施できなかったため、支援学校の生徒の体力や運動能力を把握できなかったため、来年度以降は交流回数を増やし、実態の把握に努めたい。 ・講演会の講師決定が大変難しい状況である。
9来年度以降の実施予定	・運動会ボランティア活動 ・支援学校との交流事業 ・オリパラ教育講演会